



小樽病院職員労働組合

発行元：小樽病院職員労働組合
発行責任者：石坂順子執行委員

2010年 9月号

自治労第八十二回定期大会イ、徳島

自治労の第82回定期大会に参加してきました。
「小樽病院から参加するのは初めてですね。」と言われて、えっそうなのかと思いました。

定期大会の各地方本部への代議員の割り振りは後志が代議員3人で、内、女性枠が一人です。例年地本の方から3人で参加されていたようですが、今年は人数が揃わず、私と市職の田中さんと地本枠で参加し、専従の富士池さんと3人で後志の代議員で参加しました。地本枠以外で参加する時は代議員ではなくて傍聴となります。

今年の定期大会は代議員が800人、傍聴者が1,200人でした。全国からこの大会に参加するため、ホテルはその人数を収容し、移動には専用の定期大会行きの巡回バスが出ます。毎年、各地で行われるこの大会の準備は相当大変だろうと思えました。

今年は北海道でさえ、例年になく毎日毎日暑くて大変ですが、やはり本州の暑さは違います。暑い空気の圧迫感がすごかったです。大阪、徳島は連日35度でした。そして、会場のアスティとくしまも、また、全国から集まった自治労組合員と関係者の熱気でいっぱいでした。

大会は自治労中央執行委員長の徳永秀昭さんのあいさつで始まり、連合の古賀

会長や、普段テレビでよく見かける民主党の枝野幹事長のあいさつがあつて、さすが全国大会はちがうと感心してしまいました。また、このたび参議院議員になられた、えさきたかし議員のあいさつもあり大会の大きさを感ぜました。



あいさつする民主党枝野幹事長

定期大会の内容については議案集などの資料が組合にありますので、執行委員の方は必ず目を通してください。

北海道からの大会への参加人数は12人でした。道本部の方々ともたくさん話をすることができました。さらに札幌病職の委員長、佐藤容子さんともお話をすることができました。佐藤委員長は現在、札幌市立病院の整形外科病棟で勤務

されていて、三交代もこなしていらっしゃるそうです。札幌病職は専従が2人いますが、それでも三交代勤務をしながらの委員長活動は大変だと思いました。しかし、この大会を通じて、全国の組合員の方々の熱い思いに触れ、組合のあり方や組合の必要性を強く感じる事ができました。参加させていただき本当にありがとうございました。以上定期大会のレポートでした。



冒頭で始まった徳島の阿波踊り

市職の田中さん地本の富士池さんと